

平成 28 年 10 月 3 日

ブロックチェーン技術等を活用した国内外為替一元化検討に関する コンソーシアムへの参加について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、SBI ホールディングス（代表取締役執行役員社長 北尾 吉孝、以下「SBI ホールディングス」）及び SBI Ripple Asia 株式会社（代表取締役 沖田 貴史、以下「SBI Ripple Asia」）が事務局を務める「国内外為替の一元化検討に関するコンソーシアム」に発足メンバーとして参加することを決定しましたので、お知らせします。

ブロックチェーン技術は、FinTechにおける革新的な中核技術であり、金融機関システムの安定性を向上させつつ、より柔軟で効率的なシステム構築を実現する可能性を秘めています。本コンソーシアムは、ブロックチェーン技術を活用した次世代の決済基盤をアジア地域で展開するSBI Ripple Asiaが事務局を担い、欧米の金融機関を中心に利用が進んでいる米国Ripple社の次世代決済基盤「Ripple Connect（※）」を活用して、外国為替及び国内為替を一元化する新たな決済プラットフォーム「RCクラウド」の構築をめざしています。

当行は、決済の24時間化・リアルタイム化や小額決済等の振り込みニーズの多様化とともに、越境eコマースや日本企業のアジア進出によるボーダレス化に対応するため、決済分野における新たな取組みとして、平成28年10月より本コンソーシアムに参加し、ブロックチェーン技術等を活用した新たな送金・決済サービスの検討を開始します。

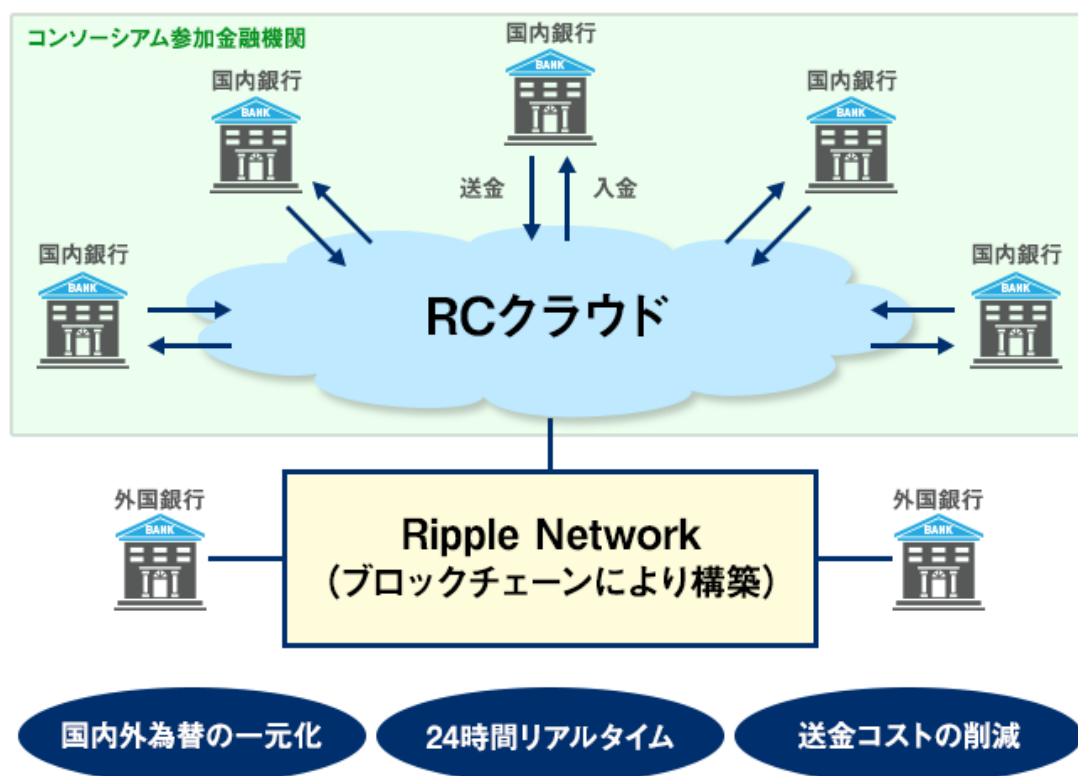
当行は、今後もICTを積極的に活用し、お客さまの利便性を高め、地域に貢献する新たな金融サービスの提供に取り組んでまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先 営業企画部 幸野・松尾 TEL 092-476-2764

【参考】

ブロックチェーン技術等を使った国内外為替一元化のイメージ



(※) Ripple Connectとは、FinTech分野を先導するベンチャー企業であるRipple社（米国）が提供する次世代決済基盤です。海外送金は、複数の中継銀行を経由するため、時間やコストの不確実性などが課題でしたが、「Ripple Connect」では送金側と着金側をマーケットメーカー（注）で直結させることで手数料の削減、取引時間の短縮を実現するとともにプロセスの可視化が容易となります。

(注) マーケットメーカー（market maker）は、特定の通貨に関して一定量の在庫を持ち、売り値と買い値をほぼ日常的に参加者に提示して実際にその価格で参加者との売買に応じる銀行、その他金融機関などが担い手となります。